

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 5 月 29 日 (2008.5.29)

【公開番号】特開 2005-330482 (P2005-330482A)

【公開日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-047

【出願番号】特願 2005-124885 (P2005-124885)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/20 (2006.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

B 2 9 C 70/06 (2006.01)

B 2 9 K 63/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/08 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 59/20

C 0 8 J 5/24 C F C

B 2 9 C 67/14 G

B 2 9 K 63:00

B 2 9 K 105:08

C 0 8 L 63:00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 4 月 14 日 (2008.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造のうち少なくとも 1 種の構造を有するエポキシ樹脂と、硬化剤とを含むエポキシ樹脂組成物であって、全エポキシ樹脂の重量平均分子量が 1 2 0 0 ~ 3 0 0 0 であるエポキシ樹脂組成物。

【請求項 2】

全エポキシ樹脂 1 0 0 重量 % 中、複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造のうち少なくとも 1 種の構造を有するエポキシ樹脂を 5 ~ 6 0 重量 % 含む請求項 1 記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 3】

前記複素環式構造が、オキサゾリドン環、イミド環、トリアジン環、キサンテン骨格から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 または 2 に記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 4】

前記縮合環式構造が、ナフタレン環、ジシクロペンタジエン基、フルオレン基から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 5】

前記複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造が、ビフェニル基、ビナフチル基から選ばれる少なくとも 1 種である請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 6】

前記複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造を有するエポキシ樹脂の重量平均分子量が 200 ~ 1000 である請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 7】

全エポキシ樹脂 100 重量 % 中、重量平均分子量が 3000 ~ 10000 のエポキシ樹脂を 20 ~ 60 重量 % 含む請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 8】

前記複素環式構造、縮合環式構造、および複数の単環式または多環式芳香族の直接結合構造を有するエポキシ樹脂と、重量平均分子量が 3000 ~ 10000 のエポキシ樹脂との配合比率が重量比で 0.5 ~ 2 であり、それらの配合量の合計が全エポキシ樹脂に対して 50 ~ 100 重量 % である請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 9】

25 における粘度が 0.001 ~ 1 Pa・s であり、環状骨格を有する反応性化合物を配合した請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のエポキシ樹脂組成物を硬化せしめて得られる硬化物と、強化繊維とを含んでなる繊維強化複合材料。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の繊維強化複合材料からなる層を 10 ~ 100 体積 % 含んでなる管状体。